

徳島市中心市街地ほか大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>徳島市中心市街地の下水道は、昭和23年に整備着手してから令和8年時点で78年が経過しており、管渠やポンプ場といった雨水処理施設の老朽化が進行している。</p> <p>また、近年の激甚化する豪雨に既存の雨水排水施設では対応が困難となっており、雨水排水能力の向上が急務となっている。</p> <p>これらのことから、激甚化する豪雨に対して雨水排除の機能を将来にわたって安定的に確保するため、管渠やポンプ施設といった雨水排水施設の増設及び改築を集中的に実施していくものである。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画における対象降雨：60mm/h（5年確率） ・目標とする理由：本市公共下水道事業計画及び都市下水道事業計画の計画降雨 ・ハード整備による整備水準の目標：60mm/h（5年確率） <p>② 目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> i) 生命保護の観点：当該地区に存在する高齢者・障害者等要配慮者関連施設の床上浸水を防止する。 ii) 都市機能確保の観点：整備水準内での降雨を適切に排除し、道路交通をはじめとする都市機能を確保する。 iii) 個人財産保護の観点：家屋の床上浸水を防止する。 <p>③ ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> i) ハード対策：施設整備により60mm/hの降雨において浸水被害を防止することを目的とする。 ii) ソフト対策及び自助：施設整備で対象とする降雨量を上回る降雨において、危機管理部局が作成する内水ハザードマップを公開して市民へ情報提供し、被害を最小限に留めることを目的とする。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水 ハザード マップ 策定状況	平成23年3月 策定			
主な 事業 内容	公 助	ハード 対策	下水道管理者	①合流管渠の改築 ・中央処理区 $\phi 900 \sim \square 2,750 \times 2,000$ L= 2.4 km
				②雨水排水設備の改築 ・八万ポンプ場 雨水ポンプ Q= 240 m ³ /min ポンプ場全体 Q=1,830 m ³ /min ・名東西ポンプ場 雨水ポンプ Q= 240 m ³ /min ポンプ場全体 Q=1,560 m ³ /min 受変電設備 ・矢三東ポンプ場 受変電設備 ・田宮西ポンプ場 雨水ポンプ Q= 168 m ³ /min ポンプ場全体 Q= 706 m ³ /min ・津田中央ポンプ場 雨水ポンプ Q= 88 m ³ /min ポンプ場全体 Q= 88 m ³ /min ・常三島ポンプ場 雨水ポンプ Q= 200 m ³ /min ポンプ場全体 Q= 700 m ³ /min ・福島ポンプ場 雨水ポンプ Q= 140 m ³ /min ポンプ場全体 Q= 517 m ³ /min ・眉山ポンプ場 雨水ポンプ コントロール センター他
			下水道管理者 以外	
		ソフト 対策	下水道管理者	浸水想定区域図の作成
			下水道管理者 以外	内水ハザードマップの更新・公表(危機管理課)
		自 助	ハード 対策	
		ソフト 対策		

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

*下水道浸水被害軽減総合事業の要件に該当し、当該事業による制度拡充分に当たる施設の整備を実施する場合には、該当する施設をすべて記載すること(別紙可、下水道浸水被害軽減総合事業の様式を参照)。なお、下水道浸水被害軽減総合計画を策定済みの場合は、その施設調書を添付すること。

*下水道総合地震対策事業の要件に該当し、当該事業による制度拡充分にあたる施設の整備を実施する場合には、該当する施設整備を下水道総合地震対策計画に位置づけること。

*下水道施設の改築（浸水に対する安全度の向上を伴わないもの）を実施する場合には、当該施設の改築を下水道ストックマネジメント計画に位置づけること。（下水道総合地震対策計画に位置づけられている場合を除く）

年度計画（百万円）

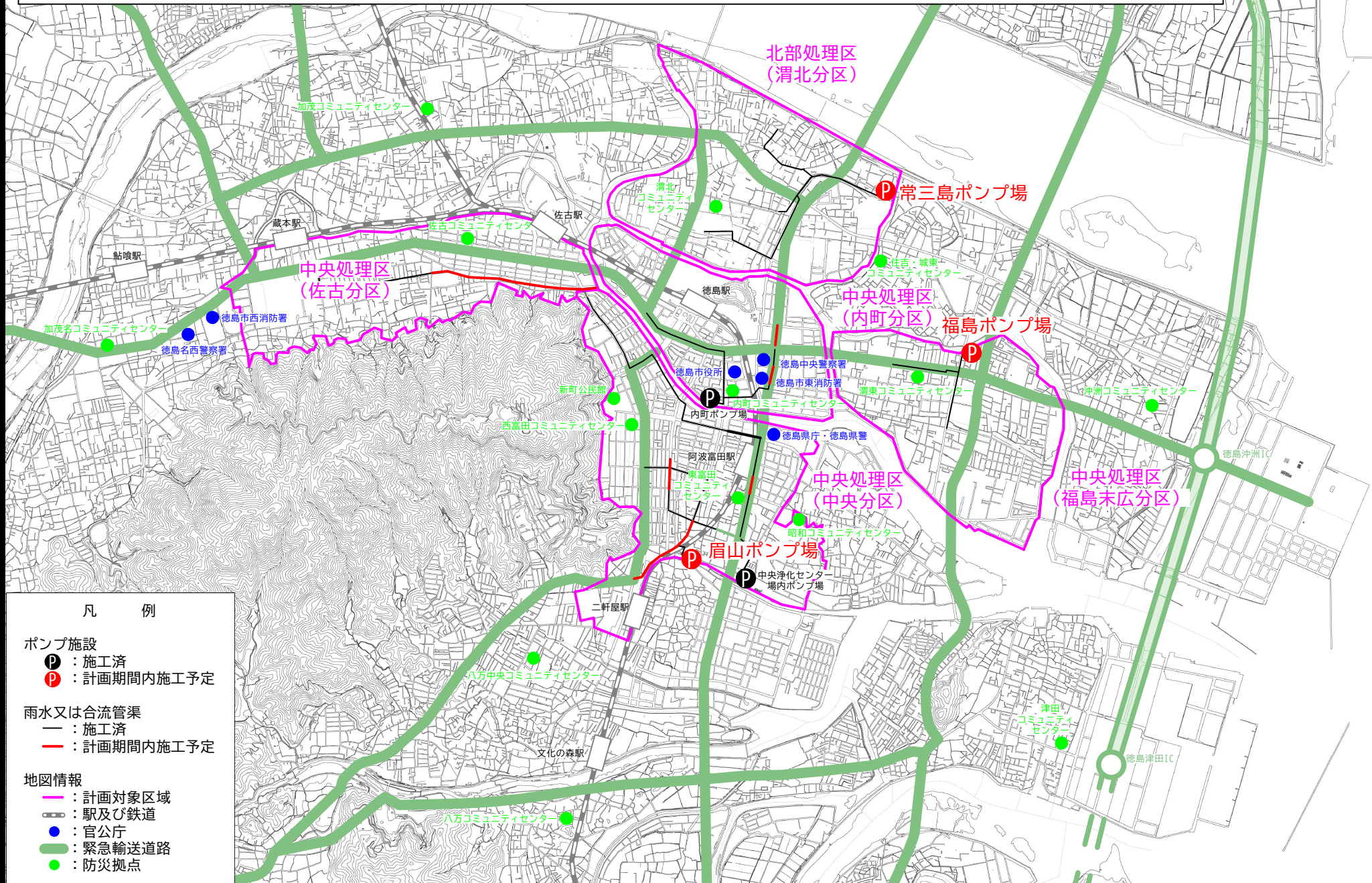
名称	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計
合流管渠の改築（中央排水区）	380	825	630	590	158	2,583
雨水排水設備の改築	272	630	830	796	74	2,602
八万ポンプ場（八万都市下水路）	272	0	0	0	0	272
名東西ポンプ場（名東西都市下水路）	0	140	0	580	0	720
矢三東ポンプ場（矢三東都市下水路）	0	140	0	0	0	140
田宮西ポンプ場（田宮西都市下水路）	0	0	540	0	0	540
津田中央ポンプ場（津田中央都市下水路）	0	0	0	0	60	60
常三島ポンプ場（北部処理区）	0	350	0	0	0	350
福島ポンプ場（北部処理区）	0	0	290	216	0	506
眉山ポンプ場（中央処理区）	0	0	0	0	14	14
計	652	1,455	1,460	1,386	232	5,185

備考）事業内容に位置づけた施設について年割額（事業費）を記述。

整備済のものは含めない。

項目	内容・施策等
整備効果	<p>老朽化が進んでいる以下の雨水排水施設について改築を行い、雨水排水機能(60mm/h、5年確率)を適切に確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央処理区 合流管渠 77年経過 L= 2.4 km ・八万ポンプ場 雨水ポンプ 52年経過 Q= 240 m³/min ・名東西ポンプ場 雨水ポンプ 41年経過 Q= 240 m³/min 受変電設備 38年経過 ・矢三東ポンプ場 受変電設備 37年経過 ・田宮西ポンプ場 雨水ポンプ 32年経過 Q= 168 m³/min ・津田中央ポンプ場 雨水ポンプ 48年経過 Q= 88 m³/min ・常三島ポンプ場 雨水ポンプ 47年経過 Q= 200 m³/min ・福島ポンプ場 雨水ポンプ 54年経過 Q= 140 m³/min ・眉山ポンプ場 雨水ポンプ 34年経過 コントロールセンター他
放流先河川との調整状況	本事業による流出量の増減は生じないことから、放流先河川との特段の調整は必要ない。
その他	特になし。

徳島市中心市街地ほか大規模雨水処理施設整備事業計画【公共下水道】 参考図面

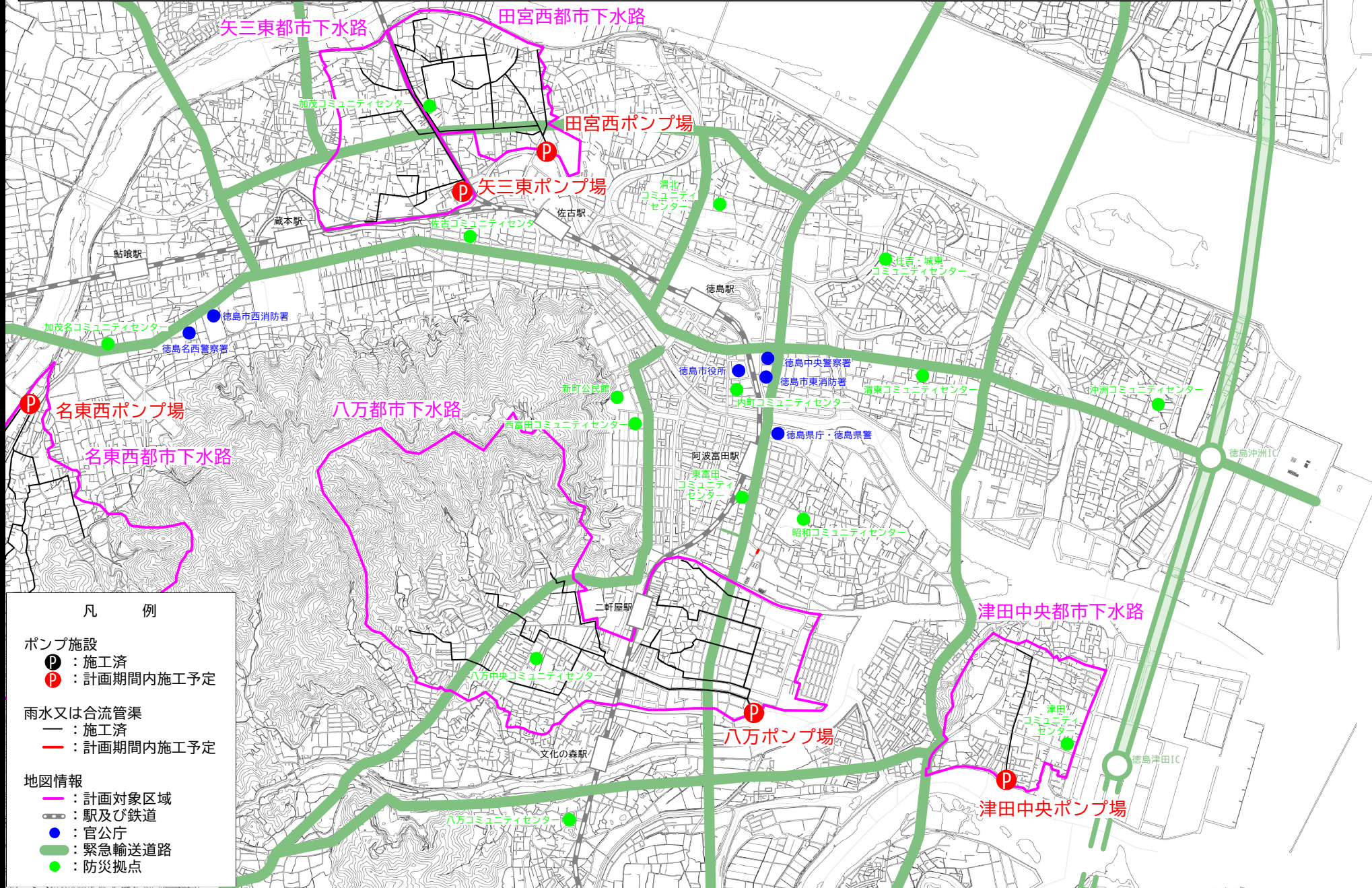


凡 例

- ポンプ施設**
- P : 施工済
 - P : 計画期間内施工予定
- 雨水又は合流管渠**
- : 施工済
 - (red) : 計画期間内施工予定
- 地図情報**
- (pink) : 計画対象区域
 - (black) : 駅及び鉄道
 - (blue) : 官公庁
 - (green) : 緊急輸送道路
 - (green) : 防災拠点

縮尺 (1 : 40,000)

徳島市中心市街地ほか大規模雨水処理施設整備事業計画【都市下水路】 参考図面



凡 例

- ポンプ施設**
- P : 施工済
 - P : 計画期間内施工予定
- 雨水又は合流管渠**
- : 施工済
 - - : 計画期間内施工予定
- 地図情報**
- (magenta) : 計画対象区域
 - (grey) : 駅及び鉄道
 - (blue) : 官公庁
 - (green) : 緊急輸送道路
 - (green) : 防災拠点

縮尺 (1 : 40,000)

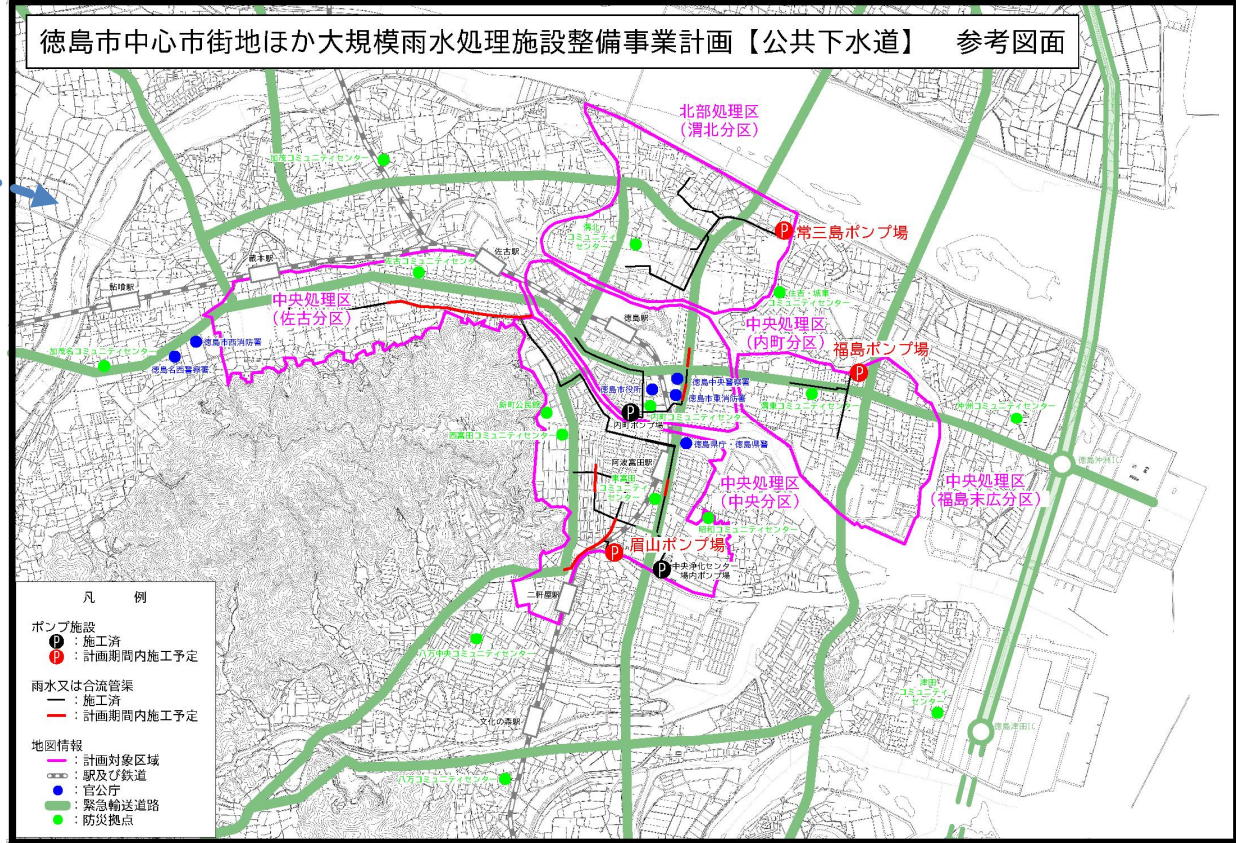
徳島市中心市街地ほか大規模雨水処理施設整備事業【公共下水道】（徳島県徳島市）

- 徳島市中心市街地では、平成28年9月の台風16号(時間最大雨量85.5mm/h)により、甚大な内水浸水被害が発生した。
- 本事業は、当該地区の雨水排除を担う管渠やポンプ施設の改築等を行うことで、60mm/h(5年確率)の降雨に対して床上浸水被害の解消を図るものである。



事業概要

- 事業内容 合流管渠の改築 : L= 2.4 km
ポンプ施設の改築 : 常三島ポンプ場、福島ポンプ場、眉山ポンプ場
- 全体事業費 約 51.9 億円 (うち 公共下水道事業 34.6億円) ※工事諸費等を含む
- 事業期間 令和 8 年度 ~ 令和 12 年度



事業効果

- 老朽化が進行している雨水処理施設を改築することで、雨水処理能力を適切に発揮させ、計画降雨である60.0mm/h(5年確率)の降雨に対して床上浸水被害を解消することができる。
- 床上浸水被害を解消することで、道路交通等の都市機能を確保することができる。とともに、生命や個人財産を保護することもできる。

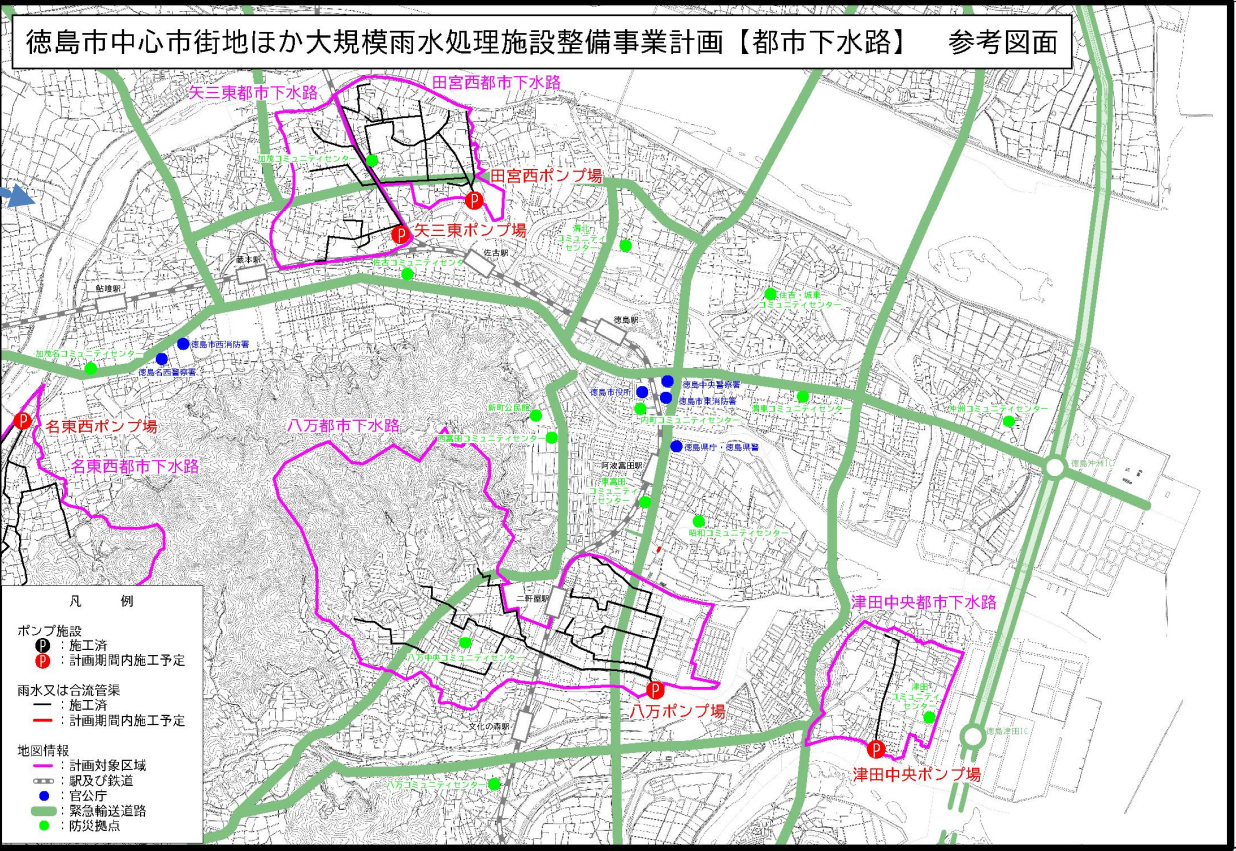
徳島市中心市街地ほか大規模雨水処理施設整備事業【都市下水路】（徳島県徳島市）

- 徳島市中心市街地では、平成28年9月の台風16号(時間最大雨量85.5mm/h)により、甚大な内水浸水被害が発生した。
- 本事業は、当該地区の雨水排除を担う管渠やポンプ施設の改築等を行うことで、60mm/h(5年確率)の降雨に対して床上浸水被害の解消を図るものである。



事業概要

- 事業内容 ポンプ施設の改築：八万ポンプ場、名東西ポンプ場、矢三東ポンプ場、田宮西ポンプ場、津田中央ポンプ場
- 全体事業費 約 51.9億円（うち 都市下水路事業費 約17.3億円）※工事諸費等を含む
- 事業期間 令和 8 年度 ～ 令和 12 年度



事業効果

- 老朽化が進行している雨水処理施設を改築することで、雨水処理能力を適切に発揮させ、計画降雨である60.0mm/h(5年確率)の降雨に対して床上浸水被害を解消することができる。
- 床上浸水被害を解消することで、道路交通等の都市機能を確保することができる。とともに、生命や個人財産を保護することもできる。